

第7回 江東未来会議

(第2分科会：産業・生活分野)

次 第

日時：平成20年2月20日(水) 午後7時00分～9時00分

場所：江東区文化センター2階 旧区政PRコーナー

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
 - ・ 江東未来会議提言書発表会の開催について
 - ・ 江東未来会議発表会資料案について
- 3 ワークショップ
 - ・ 提言書修正案の検討
 - ・ 発表会の準備（発表者の選出等）
- 4 閉会

(配付資料)

- 江東未来会議提言書発表会の開催について（通知）
- 江東未来会議発表会用資料案

江東未来会議参加者各位

江東区政策経営部企画課

江東未来会議提言書発表会の開催について（通知）

日頃より江東未来会議にご協力いただきありがとうございます。
このたび、会議で検討した結果が提言書としてまとめ、その発表会を下記のとおり開催いたしますので、ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 日 時 3月13日（木） 午後7時 開始
（開場午後6時30分 なるべく開始10分前までに会場にお入りください）
2. 場 所 江東区文化センター ホール（最寄り駅東陽町 江東区役所となり）
3. プログラム（案）
 - ・ 開催時間は全体を通して2時間の予定
 - ・ 主に、「提言書の発表」「江東未来会議に参加した感想」「提言書の提出」の3項目で構成
 - (1) 提言書の発表（15分×5分科会＝75分）
 - ・ 各分科会発表者が壇上にて発表（発表者は各分科会で決定）
 - ・ 発表後、発表者以外の分科会参加者は、席から立ち、会場に一礼
 - (2) 江東未来会議に参加した感想（20分）
 - ・ 感想シートの中から、主な感想をコーディネーターより紹介
 - (3) 提言書の提出（5分）
 - ・ 分科会発表者の代表（分科会から1人・計5人）より、提言書を区長に提出
4. その他
ご家族やお知り合いの方々へお声をかけていただき、多くの皆さんが発表会へご来場いただけますようご協力ください。

【問合せ先】

政策経営部企画課企画担当

電話 3647-9168（直通）

FAX 3699-8771

eメール kikaku@city.koto.tokyo.jp

江東 未来会議

発表会開催

3月13日(木)

江東区 文化センター



江東区では、区の将来像を定める基本構想を平成 20 年度に策定する予定です。

この基本構想策定に向けて設置した「江東未来会議」に参加された区民の皆さんが、検討結果を発表します。

日 時

平成 20 年 3 月 13 日 (木) 午後 7 時～9 時 (午後 6 時 30 分開場)

場 所

江東区文化センターホール (東陽 4-11-3 江東区役所となり)
申し込みは必要ありません。直接、会場にお越しください。 ※手話通訳付き

保 育

2 歳～未就学児のお子様の一時保育あり
(定員 10 人。3月5日(水)までに要予約)



お問合せ

江東区 政策経営部 企画課 企画担当 (区役所4階23番)
住 所: 〒135-8383 江東区東陽四丁目11番28号
電 話: 03-3647-9168 FAX: 03-3699-8771
eメール: kikaku@city.koto.tokyo.jp

江東未来会議 提言書 ～区民からの提案～

第2分科会 産業・生活

第2分科会 産業・生活

★第2分科会で取り上げた重点テーマ

- ①地域特性を活かした産業振興や消費生活の多様化への対応の必要性→「産業・消費生活」
- ②近年の人口増加や高齢化の進行などによるコミュニティの変化への対応の必要性→「コミュニティ」
- ③伝統ある歴史文化と下町の情緒の継承の必要性、それら豊富な文化資源を背景とした観光振興の取り組みの重要性→「文化・観光」

の3点を重点テーマとして取り上げ、それぞれのテーマの将来像の実現に向けた取り組みの方向性と具体的事業のアイデアを提言することにしました。

第2分科会 産業・生活

①産業・消費生活

★現状および問題認識（江東区の産業のSWOT分析）

	強み	弱み
内部	<ul style="list-style-type: none"> ○モ/と情報の発信拠点 ○伝統ある中小企業が多い ○人口増加傾向 (都心回帰) 	<ul style="list-style-type: none"> ○江東区の顔となる産業が少ない ○店主の高齢化が進行
外部	<ul style="list-style-type: none"> ○オリンピック誘致話がある ○IT企業が多く所在する 	<ul style="list-style-type: none"> ○区民の消費活動が区外に流出 ○大型ショッピングセンターの増加により、商店街が衰退

第2分科会 産業・生活

①産業・消費生活

重点テーマの将来像

江東区らしい地域産業が花開き、 区産区消による持続可能な発展のできるまち

- ・人口増加（都心回帰）、東京オリンピックや築地市場の移転を契機として、江東区らしい特色のある地域産業を花開かせます。
- ・特色ある産業立地や大学、商店街など様々な産業資源を結びつけ、江東区の顔となる産業を育成していきます。
- ・区民、企業、大学、商店街、行政等の主体の連携により、区内での消費活動を促進させ、区産区消による持続可能な発展のできるまちをめざします。

第2分科会 産業・生活

①産業・消費生活

★取り組みの方向性と具体的事業のアイデア

■地域資源をITで結びつけ、江東区の顔となる産業を育成して
いきます

- テーマ性を持った戦略的な企業誘致活動の実施

■商店街・企業・大学等の関係主体間の連携を強化し、区産
区消のための新たな仕組みをつくります

- 仮想商店街モデル事業
- 区内企業間の受発注を促進するフラットホームづくり
- 区内事業者の環境・地域活動を評価する仕組みの構築

第2分科会 産業・生活

②コミュニティ

★現状および問題認識

■地域のコミュニケーション能力の弱体化が懸念さ
れます

■高齢化の進展や災害時などのもしもの時の助け合
いのために、普段からのおつきあいやつながりが
ますます大切となっています

■世代間のコミュニケーションの場が必要です

■公園が活用されていません

第2分科会 産業・生活

②コミュニティ

重点テーマの将来像

地域と行政が両輪となってつくる コミュニティのあるまち

- ・地域においてコミュニティがその役割を十分に果たしていくためには、住民同士、世代間、関係団体間のコミュニケーションの充実が重要です。
- ・日々のコミュニケーションを充実させることにより、災害時など、もしもの時にも安心して暮らしていける、信頼感で結ばれたコミュニティのあるまちを実現していきます。
- ・区民が、町会・自治会、子育て世代や高齢者などのサークル、趣味の会など様々なコミュニティに気軽に参加し、安心して話し合える場所づくりに地域と行政が両輪となって取り組みます。

第2分科会 産業・生活

②コミュニティ

★取り組みの方向性と具体的事業のアイデア

■様々な区民・世代がコミュニケーションできる場をつくっていきます

- 地域におけるコミュニケーションの場づくり
- フリースペースの整備

■災害時の安心と地域におけるコミュニケーションを確保するための体制づくりに取り組みます

- (仮称)総合防災パネル会議の設置

第2分科会 産業・生活

③文化・観光

★現状および問題認識

- 江東区は、歴史・文化資源は豊富ですが、観光資源としての価値のPRが不足しています
- 下町の情緒・伝統を守っていききたいと思います
- 区民に江東区を理解する機会を提供することが大事です
- 近隣区との連携による広域観光も必要です
- 国による国際観光の取り組みを受け、江東区も観光振興に向けた対応が求められています

第2分科会 産業・生活

③文化・観光

重点テーマの将来像

区民が伝統ある歴史文化に 誇りを持てるまち

- ・水や川の文化、多くの名所や重要文化財など伝統ある歴史文化は、区民の生活や心を豊かにするだけでなく、観光資源としての活用や産業化、あるいは子どもの教育面においても重要な役割を果たす大切な資源です。
- ・あらゆる区民が、このような伝統ある歴史文化に誇りを持てるまちをめざします。
- ・下町の情緒・伝統を守り、豊富な歴史・文化資源を魅力的な観光資源として活かし、世界に誇ることができる江戸情緒あふれる街と、にぎわいのある「水彩都市江東」を実現していきます。

第2分科会 産業・生活

③文化・観光

★取り組みの方向性と具体的事業のアイデア

■江東区の伝統ある歴史と文化の理解を促進し、住民として誇りが持てる運動を展開します

- 江東区歴史カレンダー（年表）の作成

■観光ホスピタリティ醸成のための文化・観光教育の導入など、観光振興のための体制を構築します

- 小中学校における文化・観光教育の導入
- 観光課の設置
- (仮称)江東観光振興協会の創設
- 隣接区との連携による観光ツールの開発
- 地区単位での地域観光組織の設立

第2分科会 産業・生活

ご静聴ありがとうございました

江東未来会議 第2分科会
産業・生活

第2分科会 産業・生活